

令和4年度第1回山ノ内町総合教育会議 議事録

○開催日時・場所・出席者

日 時 令和5年3月17日(金) 午後3時00分から午後4時20分

場 所 山ノ内町役場4階 401会議室

出席者 ・ 構成員

山ノ内町長	平澤 岳
山ノ内町教育長	柴草 隆
山ノ内町教育長職務代理者	堀米 ひろみ
山ノ内町教育委員	岩本 繁樹
山ノ内町教育委員	黒岩 博之
山ノ内町教育委員	山本 均

・ オブザーバー

山ノ内町立山ノ内中学校長	山口 近
山ノ内町立東小学校長	湯本 文洋
山ノ内町立南小学校長	原 幸子
山ノ内町立西小学校長	齋藤 義和

・ 関係職員

山ノ内町総務課長	小林 広行
山ノ内町総務課庶務文書係長	望月 弘樹
山ノ内町教育委員会事務局教育次長	小林 元広
山ノ内町教育委員会事務局学校教育係長	森川 昌俊
山ノ内町教育委員会事務局スポーツ係長	田村 英則
山ノ内町教育委員会事務局学校給食センター所長	小林 知之
山ノ内町中央公民館長	原 隆文
山ノ内町教育委員会事務局中央公民館長補佐	湯本 豊
山ノ内町教育委員会事務局生涯学習係長兼人権政策係長	秋元 素江
山ノ内町指導主事	小林 妙子

傍聴者 9名

○会議内容

1 開会

(事務局)

ただいまから令和4年度第1回山ノ内町総合教育会議を開会いたします。

本日の会議は公開となっております。傍聴者の皆様をお願い申し上げます。会議の傍聴にあたり守っていただく事項を受付でご覧いただいていると思いますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、町長からごあいさつをお願いいたします。

2 あいさつ

(町長)

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。私も就任して10日程でまだ分かっていないことがたくさんありますが、教育に関するディスカッションは今後の山ノ内町の未来を決めていくにあたり重要だと思っていますので、是非いろいろなご意見をいただきながらしっかりとみんなでもんで、将来の山ノ内町の教育の方向性を定めていければと思っていますのでよろしくお願いします。

3 協議事項

(事務局)

それでは、次第の3協議事項に移らせていただきます。ここからは町長の進行でお願いいたします。

(町長)

それでは、(1)山ノ内町教育振興基本計画について、教育長、教育次長から説明をお願いします。

(教育長)

皆様ご苦勞様です。年度末のお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。教育委員会からは(1)山ノ内町教育振興基本計画について(2)山ノ内町スポーツ推進計画について(3)町立小学校統合について本日ご協議をいただきますが、事務局から説明をさせていただきますのでよろしくお願いします。

(事務局)

別添、山ノ内町教育振興基本計画より、本計画の基本目標を「未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土」と定め、この目標実現のため4つの基本施策を基本方針として取り組む旨、各施策のポイントを説明

この会議で決定いただければ、町の教育大綱として決定させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(町長)

ありがとうございました。皆様から何かご意見ございますか。教育委員さんいかがですか。

(教育委員)

1ページの計画の対象範囲の関係で、教育委員は主に小学校、中学校の教育に関して携わらせていただいておりますが、町長が思われる若者が帰ってきたくなる町というところで、保育園の管轄ですが、保護者の満足というところはあると思いますが、保育士の手当てや遊具の危険などの意見をいただいております。保育士も山ノ内町で働きたいという方が今年度

一人だったと聞いています。子供を育てるといところで一番かなめの保育の充実ができていないといところがあるので、保育士が山ノ内町へ来たくない理由があると思います。若者が帰ってきたくなる町、山ノ内町で保育をしたいと思う先生が増えることも願っておりますので、その辺もよろしくをお願いします。

(町長)

私も保育士が不足しているという報告を受けています。派遣会社に依頼するという報告も受けていますが、しっかりと庁内で進めていかないといけないと思っています。派遣会社へ依頼するのは一時しのぎでしかないと思っていますので、山ノ内町で保育士として働きたいと思ってもらえるような待遇改善と設備含めてこれから力を入れていきたいと思っていますし、いろいろとアドバイスをいただきながら改善していきたいと思っています。

(教育委員)

9ページの信州型コミュニティスクールはすごく良い言葉で、おらが学校ということを代表するような言葉です。南部の場合、先ごろ農協の穂波支所が閉鎖されました。賑やかさがなくなってしまって寂れるというのはこういうことかと実感しました。これは学校現場にひしひしと迫っていることで、何年か先にはもっと子供たちの声が聞こえなくなってくる、人の動きもなくなってくる、さらに65歳以上の限界集落になって何十年後かには山ノ内町は消滅するとの記事も出ているので、その辺りを少しでも抗って、地域住民を盛り上げておらが学校コミュニティスクールといところに皆様で加わっていけば、多少なりともコミュニティスクールの一端を担っている、何か役に立っているという意識を持っていただけなのではと思っています。私が提案したいのは、統合準備委員会でいろいろな代表の方が意見を仰っていましたが、委員長からもう少し幅広くいろいろな意見を聞いたほうがいいのではないかと聞いて聞きまして、確かにその通りだと思いました。引継ぎもされると思いますが役員交代もあるので、些細な声でも聞いていただいて統合に活かしてほしいと思います。教育委員の役を持たされた以上は、発言していかなくてはいけないと思っています。コミュニティスクールはよい組織ですが、一部の方は分かりますが顔を知りません。校長先生には、コミュニケーションスクールの会議を拡大していただいて、ざっくばらんに私がやったのはこういうことだと車座で話せるようなことをやっていただいて、それにより将来的な統合に向けてのソフトランディング的な所も生まれて、西、北、東、南の実践に携わった方々の会合も出てくると思うので、それがより良い学校づくりにつながっていくのではないかと思います。次に、スキー教室の件です。何十年も2回行っていたのが1回になってしまった。子供たちの学習意欲、体力面、雪の恵を生かす面の教育が薄らいできているので残念だと思っています。志賀高原スキー学校のイントラに聞くと、修学旅行もコロナ禍から復活してきてイントラが足りないと言っていました。イントラは30代、40代、50代前半位で、今までは60~70代が担っていました。町の雇用にもつながるし、いろいろな業種の方が携わっていて雇用創出にもつながるしスキー産業の拡大、衰退防止にもつながると思うので、子供たちに経験させることが底辺拡大、後継者育成もできると思うので危惧

しています。町長はオリンピックでご理解いただけるとと思いますので教育行政にも反映させていただきたいと思います。

(町長)

ありがとうございます。信州型コミュニティスクールは、地域と学校をしっかりと結ぶ、地域とともに学校づくりをすると認識しています。これは引き続き方法を考えていかなければいけないと思っております。スキー教室に関しては学校側の経緯もあると思うのです。私も山ノ内町の特徴も含めて、スキーができる環境を作ってあげたいと思っておりますのでこれからの町、教育の色を出していく、日本中どこの市町村で育っても同じという形ではなく、山ノ内町ならではのカラーを出していきたいと思っております。そこはじゃあ2回にしましょうという話ではないと思うので、現場の負担も含め、それぞれの子供たちの家庭事情等々も含め、例えば札幌市もほぼ全小学校でスキー授業をやっていますが、そういう所の事例も勉強しながら、どういう形にしたら学校も家庭も負担が少なくできるか、志賀高原の麓の山ノ内町の特徴を出せるのかということを計画に触れ込んでいきたいと思っております。他にはございますでしょうか。では、教育大綱に認めさせていただければと思いますがみなさんよろしいでしょうか。

(一同)

頷く

(町長)

ありがとうございます。また細かいところは随時つめていければと思っております。次に進みます。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

別紙、第2次山ノ内町スポーツ推進計画より、国や長野県との整合性を図り、山ノ内町のスポーツ活動の推進及びスポーツ環境の整備等について策定した旨を説明。第1次計画の時には新社会体育館の建設について触れており、新たな社会体育館の建設について具体的に検討を進めるとあったが、第2次では、現状と課題に記載のように現在の学校の施設の活用や今後統合を含めた空き施設を活用しながら進め、新体育館については体育協会を中心に、必要性がある場合については費用対効果や維持費も含め必要かどうかを見極めながら慎重に検討する旨を説明。さらにスポーツ環境の充実についてパブリックコメントが1件あったこと、また定例教育委員会で承認されたので(案)ではなく決定版であることを説明、報告した。

(町長)

ありがとうございました。何かご意見があればお願いします。

(学校長)

中学校の運動部活動はクラブ化しているところもある中で、そういった実情を受け止めて反映していただいたことをありがたく思います。まさにこの地域移行については3年間を目標に設定されていて、今回の改定も来年4月からとリンクするところがあって、非常に

前向きに方針を立てていただき感謝しますが、総合型地域スポーツクラブが窓口になっていますが、それに関わらず運動をしたい子供たちの環境を整えるという大きな視点で町としても支えていただきたいと思いますし、体協やスポーツ少年団等色々な方々にもご理解いただきながら、運動したい子供たちの願いが叶えていけるよう中学校としても最大限やって行きたいと考えていますので、振興計画等踏まえて一緒に考えていただけるとありがたいと思います。

(町長)

ありがとうございます。中学校の部活動は外に移行しつつあるのですか。

(学校長)

すでになっているものもある上で、まだ部活動としてやっているクラブもあるので、いずれは地域移管ということですが、実情がいろいろ違うので相談しながらやっていきたいという思いです。

(町長)

私の認識としては、町がしっかりとした何かしらの施設がないと受け皿として機能しないのではないかと考えています。統廃合こともありますので、今町が持っている施設が使えるのか、新たに建てなければいけないのかというところは教育委員会と校長先生方と話し合いながら、将来の山ノ内町の子供たちと大人も使えるような施設をどう作り、維持管理していくのかまた活用していくのかというところを引き続き具体的なところを情報交換しながら進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。国の方針として、部活動は外に出していくというがあるので、町もしっかりと力を入れてやっていきたいと思っています。

(学校長)

本校でも東小学校でもクロスの全国大会で入賞する子供が出ています。トップ選手も育っていて素晴らしいなと思います。一方で、県のクロスカントリー大会を見ると以前と比べると人数が少なくなったと実感します。少子化もあると思いますが山ノ内町でもクロスの人数が減ってきている原因は何だろうと思います。その一つは少子化のほかに保護者負担があると思います。トップ選手が育つことも素晴らしいですが、同時に成績が出ないお子さんでもにこにこスポーツに楽しく取り組めるような、そんなスポーツ推進計画であってほしいし、クロスだけでなくいろいろなスポーツで体を鍛え、生涯にわたってスポーツを楽しんでいける子供たちになってほしいと思います。そういった意味でも財政的な面、施設的な面でも援助をいただきたいと思います。

(町長)

先生が仰るとおりで、スキーには道具が伴うのでお金がかかるスポーツです。それが一つの参入の障壁になっているとの認識があるのですが、これも町としてやり様かと思ひまして、私が昨年関わった北海道美唄市では、ヘッドジャパンから 188 セットのスキーを美唄市スキー場に置かせてもらって、美唄の子供たちが自由に使えるように用意させてい

いただきました。スポーツクラブを作る過程で、スキーやスノーボードクラブは別軸にするかは今後検討が必要だと思いますが、底辺拡大的なところとしてまず幼稚園児、小学生低学年がスキーを試したいといった時に、保護者の負担なく始められることを作りたいと思っておりますし、そこから選手を目指すとか、アルペンやクロスカントリーだけでなく、今はフリースタイル、スノーボード様々ありますので、せっかくのこの地の利を生かした色々なことができればいいと思いますので、私もしっかりと試行錯誤していきたく思いますし、その都度、スキー教室のこともありますので、学校とも連携をとってやっていきたいと思えます。まず試せるというプラットフォームを作りたいと思えますし、スキー、スノーボードに限らず他のスポーツに関しても探していきたく思っています、特に若い子達に人気のスケートボードができる場所を整備していけば、雪のない時限定になってしまいますが、気軽に体を動かせるので、そういう軸で色々な提案ができると思っています。引き続き相談させていただきながら、町では何ができるかを詰めていきたく思っています。

(学校長)

3小学校の中で南小学校が一番スキー部の人数が多いのですが、費用面はマイクロバスは社会体育で持っていて色々な場所へ行けるし、用具もクラブとして持っているので費用はかからないのですが、それでも子供たちが入りたいといっても親御さんがうんと言ってくれないという壁は何なんだろうと学校でも話題になりました。今年6年生が8名いたので、一体となって仲間となって6年間続けていました。費用や送り迎え等保護者の負担は少ないのですがそれでもとても難しいと感じます。ここでやっているレッツスキーはとても評判がいいです。いろいろやっていただいていることが、保護者や子供にとっては取り掛かりとしてありがたいと思えますので、町で色々やっていただくことが子供たちが経験できることなのでありがたいと思えますのでこれからもよろしくお願いします。

(町長)

では次に進みます。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

別紙、山ノ内町立小学校適正規模及び適正配置に係る基本方針、山ノ内町立統合小学校整備計画(案)より、基本構想に基づき統合小学校づくりのコンセプトや開校に向けた取り組み、今後のスケジュール等を説明

(町長)

ありがとうございました。何かご意見があればお願いします。

(教育委員)

小学校の統廃合についてはずっと議論があって、我々も新しい学校を作れば良いなど考えていますが、皆さんは、どこにどのような建物でというハード面が気になっていると思うのですが、ハードよりも中身のほうが大事です。先ほど町長も仰ったようにこの町ならではの教育が施せばいいと思っています。その中身、この町でどういう風に教育をすればいいのか、それにはどんな施設が必要なのかを今の準備委員会ないし令和5年度専門部会でもん

でいただくのですが、一番はこの教育を受けた子供たちが将来幸せでいられるかどうかという感覚です。文科省も言っていますが、能力を伸ばしてあげることが教育として人が幸せになっていく方法ではないかと思います。従来の画一的な教育が悪いというわけではありませんが、努力すれば全員が同じ能力を持つという考え方を捨ててしまっていて、その人の能力を最大限に引き上げる、そういう教育ができればいいのではと思います。それができれば大人になり社会に出て能力があるところで活躍できるので本人にとってもいいし、社会にとっても有効活用できると思います。これは障害のある方も同じですよ。必ず何か能力を持ってらっしゃるので、そういう教育ができればいいなと思って、準備委員会や専門委員会でそういうことをしていこうと現時点で我々は考えております。町長は立候補の段階から統合については立ち止まってとかもう一回考え直すといった報道や声が聞こえていたのですが、その辺りについてどのようにお考えになっているのかお聞かせいただければと思います。

(町長)

ありがとうございます。仰ることが私も同意する内容で、統合に関して立ち止まるという発言をしたのは、こういう情報がまだ出てきていないタイミングでしたし、どういうディスカッションがされていてどういう方向性に向かっているのかというのが私も情報収集出来ていなかったというのがありますし、周りの人も聞こえてきていなかったという所で、形としてはやることは決まっているが中身はまだ決まっていないという少し乱暴な方向性が示されているという所で、選挙戦ではまずいったん立ち止まって内容を吟味して進めるということを伝えさせていただきました。これに関しては色々な考え方があって、正解不正解はないと思っているのですが、山ノ内町がどういう方向に行くべきかということをしつかりと議論しなければいけないと思います。もちろん教育という側面でもそこで学ぶ子供たちの未来のために教育現場をどう作るかということが重要ですし、町としては経済の発展のために町の教育をどうあるべきかということも大事ですので、適正規模で見たときは統合やむなしとなりますが、少人数のクラスでいい教育をしている学校も山ほどあって、敢えてそういう所を選ぶ親御さんもいるような時代になったので、この山ノ内町がどういう特色を作れるのかしつかりと決まる前に統合しましょうという声が聞こえてくる所、ただ数合わせに統合するのはどうなのかという所と、経済面だと北小の例もあります。小学校が無くなると過疎化するということのデメリットもあります。経済のために子供たちの未来を潰したくないので、統合した方が良いのなら統合したほうが良いと思いますが、それ以外に山ノ内町にはもっと魅力的なものを作れないのですかということも疑問に思っております。例えば私はアメリカの高校に行ったのですが、全校生徒 130 人の小さな学校でしたが、アメリカの高校生活をしつかりやって、ハーバード大学へ行った友達もいます。決して批判ではないのですが、アメリカは文武両道をしつかりやっています。日本より明確にスポーツをやっている子が勉強を免除されることは一切ないです。そういう文化があります。日本ではなぜかスポーツをやっている子は学校に来なくてもいいというようなことがあります。

ますが、私はそこに危機感を感じていて、日本の教育は大丈夫なのかと。昔は全員をしっかりそのレベルまで引き上げるという教育だったと思うのですが、今は子供の数が少なくなってきた中で、個々の能力を伸ばす、個性を伸ばすという教育も有りだと思います。それに関していうと、一クラス5人や10人でも目が行き届くのでいいという場合もある。ここに書かれているように、子供たちがいろんな子供たちと接する中で色々な経験をすること重要だと思っています。これに関しては正解がない中で、私としてはこの山ノ内町を外の人が移り住んで来なくなる町として考えた時に、この統合を止めますとなぜ言わなかったかという、進めるべきだと思っているからで、中身についてはもっとディスカッションしなければいけません、西小、南小、東小の施設をどうするか議論がない中で、とりあえず統合しましょうというのは納得してなくて、例えば西小や南小をベースに専門的な小中学校を作るとか、アート、スポーツに強いような学校があればその事例を学びながら作るとか、小学校統合がマイナスな方向性ではなく、より山ノ内町の魅力を高める中ためのプラスの方向性に行くような統合であり、プラス α をしっかりと出していかないと単純に統合だけするのは山ノ内町としても縮小傾向、経済的にもマイナス面しか残らないと思います。子供にとっては良いと思いますが子供たちもどんどん減っていく中で、経済が機能していない町に帰ってきたいかという帰ってきたくないと思いますので、10年後20年後を見据えて、山ノ内町に帰ってきたい、ここで子育てをしたいというような学校教育と経済を2軸で作っていかなくてはいけないのが町の機能ですので、そのためには統合だけを進めるという気にはなれず、やるのであれば中身づくりとさらに上向きになるようなプランをみんなで考えたいなと思っているという意見です。

(教育委員)

ありがとうございます。山ノ内町の小中学校はユネスコスクールでESD教育をずっとやっています。私の子供も今は大学生ですがESD教育を受けておりまして、友達等はESD教育の効果だと思いますが地元意識がすごく高く、大学を卒業したら地元に戻りたいという子供がすごく多いです。帰るといっても産業が無ければということになります、教育委員会では教育のことを考えていますが、町全体の大人たちが次世代に産業、生業として残していかないと子供たちも帰ってこれません。町長が色々な事を多角的に考えていらっしゃることを教えていただきましたので、安心したというふうにうれしく思いました。ありがとうございます。

(町長)

ESDについては、山ノ内町の教育に根付いていると聞きましたので素晴らしい歴史をすでに作られていると思いますのでそれをしっかりと生かして外にも伝えてと思いますし、重点となる教育を柱に置きつつも、分かりやすい教育がプラス α されれば良いと思います。その辺りは教育者の方と意見を出し合いながら、そのための次なる会議だと思っていますので、準備委員会で色々な意見を出していただきたいと思っています。日本全国に色々な面白い学校できて運営されていますので、情報を持ち寄ってもいいと思いますので意見を

出し合いながら、また西小、南小等の使い方を含めて庁内でも議論や提案をしたいと思っています。他に意見はございますか。

(学校長)

統合準備員会に私も参加させていただきました。私も地元の間人、東小学校区の間人ということの思いで子供たちを育てています。町長が仰る若者が帰ってきたくなる町とはどんな町なのかと考えた時、山ノ内らしさに帰るのですが、観光や農業、それに付随した産業や独立した産業、経済的な基盤、軸があるから人が集まると思います。学校にも学校の色があるから人が集まる、少子高齢化や人口減少傾向にある中でそこを維持するために大事だと思います。確かな合意形成が100%ではないにしろ少しずつされていくことが一番大事なのかなと思います。もう一つは大人が元気じゃないと子供も元気じゃない、子供が元気じゃないと大人も元気じゃないというのが基本的な人間の生活構造だと思います。元に戻りますが教育振興基本計画の「未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土」、総合教育計画の町の将来像としては夢と希望がある健康な町ということで、教育と経済はあまりリンクさせてしまうとという部分は教育にはありますが、実はものすごくリンクしている部分があるかなと、魅力や施設は大事だなと思います。経済的な面では地方交付税の比率にも大きく影響してくるのかなと思います。町の財政を豊かにしていく、それは最終的には若者が帰ってきたくなる町に行き着くのだと思います。そのための義務教育、9年間でありたいと考えます。山ノ内らしさを大事にしていければと考えております。

(町長)

ありがとうございます。私も山ノ内らしさは何だろうといつも思っています。小学校の取組みで山ノ内らしさを作るといっても山ノ内らしさの具体的な絵が見えていなかったです。校長先生が仰るとおり農業の軸をしっかり決めるということは良いと思いますし、統廃合した次のステップとしてプラスαを作れる、統合小学校の外か中かにはありますが。町には高校がなく、その先は外に出て行ってしまう前提がある中で、観光の専門学校的なものがあったてもいいのかなと思います。観光で栄えて観光で生きている町ですので、観光と農業がテーマの専門学校は山ノ内町を経済的にも魅力的にするの一つになると思って、将来的には視野に入れて考えています。他にご意見ございますか。無ければ次に進みます。

(4) 教育行政についての懇談

(事務局)

こちらについては特にテーマは設けてございません。お時間の許す限りで懇談いただければと思います。

(町長)

先ほどだいたいご意見は出たようですが、これから議論を続けていくと認識していますし、統合準備委員会もメンバーを広げて、引き続きディスカッションをしながら意見やアイデアを持ち寄っていただけて進めていければと思いますのでよろしく申し上げます。他によろしければ次に進みます。

(5) その他

(町長)

事務局から何かありますか。

(教育長)

今日はありがとうございました。これからの進め方については学校教育係長から話があったとおりで、教育委員会としては小学校児童のより良い教育環境の整備、教育の質の一層の充実の視点に立ちまして、また今回策定していただいた整備計画(案)について、今までの経過、議論を尊重する中で児童保護者はじめ地域住民の皆様に十分に理解いただくよう進めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(町長)

ありがとうございました。では、事務局に返します。

4 閉会

(事務局)

大変有意義な意見交換ができたと思います。以上をもちまして、令和4年度第1回総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。